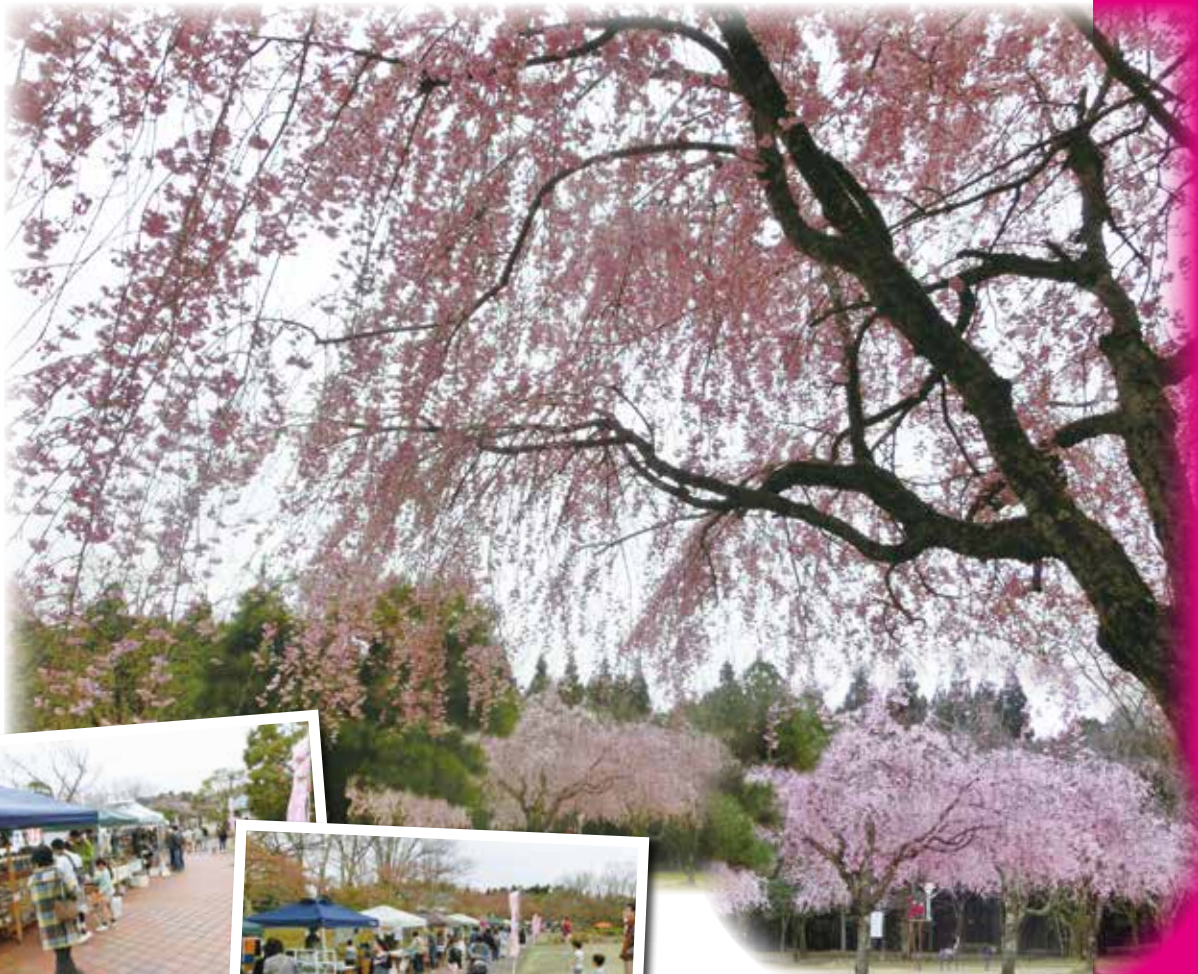




議会だより



第8回 越前陶芸村 しだれ桜まつり



主な内容

- ◆ 定例会報告 2p～ 3p
- ◆ 町政を問う（一般質問） 4p～ 11p
- ◆ 総務文教厚生常任委員会での質疑 12p
- ◆ 産業土木常任委員会での質疑 13p
- ◆ 3月定例会に提出された議案等 14p
- ◆ 議員の議会・委員会等出欠状況 15p
- ◆ がんばってます!・編集後記 16p

こんなことを審議しました

専決処分の承認（補正予算）

会計 議案 番号 金額 (千円)	一般会計					主な内容
	承認第2号	承認第6号	承認第5号	承認第4号	承認第1号	
	2,700	151,380	85,414	53,259	18,500	
簡易水道	除雪費の増額 一人暮らし老人世帯屋根雪 下ろし助成費等の増額	除雪費の増額	除雪費の増額 台風21号による農地災害復 旧費用・林業施設災害復旧 費用を計上	除雪費の増額	除雪費の増額	
承認第2号	落雷により平等浄水場の流 量計故障のため、取替工事 費増額					

条例

越前町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定

介護保険法の改正により、平成30年4月1日から指定居宅介護支援事業者の指定を市町村が行うことになりました。

ケーブルテレビ施設更改事業
(委託料・工事請負費)
6,177万6千円



現場踏査(越前地区機器入替・越前コミュニティセンター)

①織田地区で光インターネットサービスや超高細度映像(4K・8K)に対応するケーブル施設に再整備するため、設計業務委託料(1,965万6千円)を計上しました。
②越前地区の丹南ケーブルテレビ用映像系機器が耐用年数を迎えたことから、機器を入れ替えるための工事費(4,212万円)を計上しました。

越前焼活性化対策事業
(工事請負費・公有財産購入費他)
3,256万4千円

- ・越前古窯博物館周辺施設(駐車場)整備工事 1,176万1千円
- ・再開発のための土地建物購入費(おむすびチェーン跡地) 1,930万3千円
- ・越前陶芸村活性化に対する助成(しだれ桜まつり・秋季茶会・天心茶会イベント) 150万円

宮崎有機資源活用作業場条例の制定

宮崎有機資源活用作業場(陶の谷)で行う業務および使用料等を定めるとともに、作業場の管理に関する業務を指定管理者に行わせることができるようにするため、条例を全部改正しました。

越前町国民健康保険条例および越前町国民健康保険基金条例の一部改正

越前町国民健康保険条例の一部改正

平成30年度から県が国民健康保険の財政運営の責任主体となることから、関係条例を改正するとともに、県から示された標準保険料率を基に、本町の税率の改正を行いました。

越前町印鑑条例等の一部改正

本庁および宮崎・越前・織田コミュニティセンターに設置の自動交付機からの各種証明書の交付を平成30年3月31日で廃止するため、条例を改正しました。

越前町国民健康保険織田病院事業の設置等に関する条例の一部改正

平成30年8月から耳鼻咽喉科を新設するために条例を改正しました。



現場踏査(越前陶芸村再開発土地購入・おむすびチェーン跡地)

管理公社管理観光施設改修事業
4,244万2千円

公共施設管理公社に管理を委託している観光施設の改修や修繕のための工事費を計上しました。

道の駅越前厨房改修工事

越前がにミュージアム修繕工事
988万2千円(厨房増築/設計監理委託)

越前岬水仙ランド修繕工事
240万円(屋根・機械室ドア修繕)

越前温泉露天風呂漁火修繕工事
330万円(展望台・手すり修繕)

更新/シャワー改修他
1,749万円(ボイラー増設/洗濯機乾燥機)

福井総合植物園修繕工事
660万円(非常灯取替園内木道修繕他)

越前陶芸文化交流会館修繕工事
170万円(給水ユニットポンプ更新)

平成29年度補正予算

病児デイケア事業

29万円

病後児保育や病児保育の利用者増加により、委託料を増額しました。

広域保育事業

498万5千円

他市町の保育所へ入所する町の児童の入所者数の増加により、他市町への広域保育委託料を増額しました。

障害児保育事業

51万8千円

私立保育所の重度障害児の入所者数と入所月数の増加により、私立保育所に対して交付する障害児保育事業補助金を増額しました。

一時預かり事業

67万7千円

①一時預かり無料化保育事業補助金

保育料が無料となる第3子以降の二時預かり保育」を実施した私立保育所に対して交付する補助金を計上しました。

②一時預かり保育事業補助金

町内の年間延べ利用者が25人を超える二時預かり保育」を実施した私立保育所に対して交付する補助金を計上しました。

漁港施設機能強化事業(工事請負費)
3,600万円

「越前町漁港施設機能強化計画」に基づき、白浜(城崎)漁港(高佐地係)越波被害防止対策として護岸改良工事費を計上しました。

社会資本整備総合交付金事業
2億4,000万円

社会資本整備総合交付金を受け、道路網の構築や冬期間の交通の確保、道路構造物の長寿命化を図るための委託料、土地購入費、工事費を計上しました。

橋梁点検

町道白山線他 1,567万4千円

橋梁修繕

町道光ヶ丘大城野線(光ヶ丘大橋) 7,100万円

消雪装置

町道栃川線 2,100万円

道路改良

町道福井線(交差点改良) 1,100万円

町道宝泉寺グラウンド線、国体線

(天神橋架替工事に係る県受委託料・用地購入費)

8,460万9千円

町道栃川線(排水路改良)

3,500万円

平成30年度予算

本庁舎整備事業

(委託料・工事請負費)

9億8,122万5千円

(本庁舎建設工事は27年の継続費で、

31年度工事請負費等は16億9,530万円)

耐震性能が確保された本庁舎の建替えるための工事費を計上しました。

新庁舎は、生涯学習センター朝日多目的ホール(カメラアホール)に連結し、1階および2階部分は、渡り廊下で往来できる建物を計画しています。外観は、町に残る伝統的な民家の意匠をモチーフとした水平な軒先のある屋根と格子状の梁と柱を際立たせた建物をイメージしており、水平庇と縦のルーバーは、直射日光をやわらげる役割も兼ねています。



新庁舎の外観イメージ

小学校改修事業(工事請負費)
2,852万円

学校施設等を改修するための工事費を計上しました。

・朝日小学校

天王川・町道宝泉寺グラウンド線改良事業

補償工事(駐車場舗装・築山撤去他)

1,602万円

小プール改修

350万円

・糸生小学校

グラウンド改修

750万円

・萩野小学校

切土法面整形

150万円

人事

次の方々の任命・推薦について、全会一致で同意しました。

政治倫理審査会委員						教育委員会委員
山田 保子	堀井 宗一	石田 征一郎	濱野 治代子	田中 善隆	馬谷 友江	向富 一郎
天王	気比 庄	大王 丸	小樟	樫津	中野	江波
再任	再任	再任	新任	再任	再任	新任
再任	再任	再任	再任	再任	再任	再任
再任	再任	再任	再任	再任	再任	再任



笠原 秀樹 議員

町長

町の高齢者単身世帯及び高齢夫婦世帯数は平成29年4月1日現在、1,806世帯で年々増加している。また、町が行ったアンケート調査によると、介護認定を受けていない一般高齢者800人のうち37.3%が「配偶者が介護している世帯」いわゆる「老々介護世帯」となっており、高齢化問題の深刻な現状が浮き彫りとなっている。一方、町の人口は



新規の最重要施策

① 少子化対策として、子育て世代包括支援センターの設置

妊娠から出産、子育てまで、切れ目のない支援ができる窓口を設置し、安心して子どもを産み育てることができるよう環境を整備する。

③ 役場本庁舎の建設

本庁舎は、町民の安全安心を支える防災の拠点であるとともに、町民の絆を育み町民主体のまちづくりを推進する拠点である。町民や職員、全ての人が使いやすい、効率的な機能を有した庁舎にしたい。



いっぱい 質問

町政を問う！



藤野 菊信 議員

藤野

一般通過型の観光から収穫体験型の観光に力を入れていってほしい。

町長

SNSのプロガーたちを越前町に招いてはどうか。

藤野

ふるさと納税制度にもつと町全体で取り組むべきではないか。

藤野

集するにあたっては、協賛事業者間の連携を図っていきいたいと考えている。

町長

体験型観光は、農業に限らず地方の集客力のある観光コンテンツとして期待されている。町では、観光連盟が主体となって、陶芸体験やイカ釣り体験、スキューバダイビング体験など、その地でしかできないサービスや体験を提供しており、少しずつではあるが成果を上げている。

町長

最近雑誌の情報が限られ、公式サイトに書かれた公式情報では満足しない消費者が増加している。そのため、プロガーの斬新な視点、個性的な記事に期待がされている。今後のインバウンド需要などを考えた場合、海外プロガーも含め、有効なツールであると考えている。

町長

制度本来の趣旨であるふるさとを応援したいという寄付者の気持ちを大事にし、返礼品ではなく使途や成果を公表することで、寄付者を増していきたい。

町長

ふるさと納税の寄付金を集落の事業に充てられないか。

収穫体験型の観光は、農業での収益拡大や地域経済の活性化も期待できるので、今後観光事業への参入に意欲的な農家に対して、現在の里山里海湖ビジネス推進事業などを活用し支援していきたい。

リスクの回避策や一過性にならない方法などを研究し、有効な活用ができるよう慎重に進めていきたい。

一方、町全体でふるさと納税に取り組み、返礼品の品数を増やして充実させることについては、取り組むべきことと考える。平成30年度には、商工会や越前焼窯元、生産農家などに対して、今一度呼びかけを行い、協賛していただける事業者を増やしていきたい。返礼品の組み合わせも、事業者を募

公共事業の受益者負担の原則と公平性の確保の観点から、小規模な集落といえども、自己負担なしの事業の実施はできない、と答えるを得ないのが現状。しかし、集落を健全に維持していくために必要な事業については、負担率の軽減を含め検討していきたい。また、防災事業など住民の安全が脅かされると判断すれば、一般財源を投入してでも対応していくべきと考えている。



陶芸体験



イカ釣り体験



ダイビング体験



平成30年度予算の最重要施策について

笠原

増え続ける高齢単身世帯や夫婦二人の高齢者世帯、次代を担う子どもの数の減少、平成30年度からの国民健康保険税の見直しなど、先行き不透明で将来に不安を感じずにはられない今日、若い人たちが郷土を愛し、我がふるさと越前町を他の地域の方々に自信を持ってPRできるような「魅力あるまちづくり」が必要と思うが、町長のお考えは。

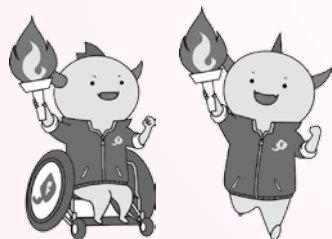
22,258人となり、10年前と比べると約10%減少している。こうした状況の中、平成30年度は予算編成方針を「越前町の未来の展望を確立する予算」と定め、人口減少に伴う地方活力の減退に対応する予算を目指した。

② 今年10月に開催される福井しあわせ元気国体の成功

越前町を全国に向け発信する絶好の機会でもあり、生涯学習、生涯スポーツの機運を盛り上げたい。

また、国民健康保険税の増税については、事務が県に一本化されることによる見直しであり、制度の存続のためには、やむを得ない措置である。

そして、人口減少問題を避けて通れない今日、先行き不透明ではあるが、「未来に希望を持てる町」に一步でも近づけるよう予算を編成している。





木村 繁 議員

いっぱん 質問



高田 浩樹 議員

空き家等の現状と対策について

高田

空き家特措法で定める空き家の総数、特定空き家の数と除却の現状、また除却が滞っている場合にはその理由について伺う。

建設理事

空き家の総数は、平成30年2月末現在757件、うち特定空き家は17件。

特定空き家の除却の現状は、安心でうるおいのあるまちづくり事業で町による除却が5件、除却支援事業補助金を活用で個人による除却が1件、越前焼活性化対策事業での除却が1件、略式代執行での除却が1件、合計8件の除却完了。

除却が滞っている一番の理由は相続関係だと考える。

高田

空き家化の予防、実態把握、利活用の在り方は。

建設理事

空き家化の予防のため、各種団体や専門家と連携した相談会、パンフレットの作成、広報誌等への掲載などを実施。

実態把握としては、概ね5年ごとに調査を実施。前回は、平成26年度。この結果を空き家カルテとして

子どもたちの図書活用について

木村

本町での学校における読書活動の現状と取り組みについて伺う。

教育長

町内の小中学校では、全校一斉に10〜15分の朝読書の時間を設けている。また読書月間には、家庭での親子読書を勧め、図書委員による図書クイズやおすすめ本紹介など、児童が自主的に工夫して本に親しむ機会を作っている。

木村

町内の図書館における直近3か年の蔵書数、貸し出し冊数、利用者数、それぞれの推移は。また数値目標があれば、それに対する達成状況および進捗率は。

教委局長

(蔵書数、貸し出し冊数、利用者数の推移を下記の表のとおり説明)
蔵書数は、毎年2%程度ずつ増加。貸し出し冊数、利用者数は、ほぼ横ばい。
蔵書数と利用者数に対する目標数

作成。現状に即した情報になるよう毎年、区長会にて更新をお願いしている。これらの情報は、町でデータベース化、管理している。
利活用については、空き家住まい支援事業、空き家等地域貢献活用支援事業、空き家等新規創業支援事業などにより、空き家の有効活用を図っている。
また、空き家情報バンクに登録されている物件を町のホームページで公開している。

高田

空き家等の対策の方向性について、町長の所見を伺う。

町長

本町では、空き家数が急激に増加することが予想され、地区によって空き家の発生状況や発生予測が異なるため、各地区の実情に応じて対策を進める必要がある。

地域住民の安全で安心な生活環境を守るため、予防、管理不全空き家対策、利活用の支援制度の充実、住民への意識啓発活動など、対策を進める所存である。

健康長寿に関する施策について

高田

町民の平均寿命と健康寿命は。

値は、特に定めてなく、第二次越前町総合振興計画の中で、町民一人当たりの貸し出し冊数を目標指標として掲げている。

平成二十六年の当初値を一人当たり4.6冊とし、平成三十一年の目標値が、5.0冊となっている。

この目標値に対する平成二十八年度の貸出冊数は、4.8冊となっており、目標値に対し、概ね達成できている。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
蔵書(冊)	195,493	199,781	204,262
貸出数(冊)	100,867	99,789	102,173
利用者数(人)	28,098	28,730	28,653

木村

福井県立図書館の一人あたりの貸し出し数は5年連続日本一である。敦賀市立図書館では、市民の協力のもと、文中に「敦賀」の文字が登場する本ばかりを集めた「本敦(ほん とん)・探偵倶楽部」というコーナーを作り、その蔵書数を増やしている。この取り組みに対しての所見を伺う。

民生理事

	平成18年	平成28年
平均寿命	男 78.26	80.08
	女 84.84	87.45
健康寿命	男 77.01	78.67
	女 81.90	84.45

高田

生活習慣病の発症および重症化予防の取り組みについて伺う。

民生理事

栄養、運動、喫煙、飲酒、睡眠などの生活習慣の改善、体操などの健康づくり活動の実践、健診を受診することによる生活習慣改善の動機づけ、がん検診の勧奨などに取り組んでいる。

また、保健師、栄養士による個別相談、医療機関と連携した取り組みなどがある。

高田

健康を支え、守るための社会環境の整備に関する取り組みは。

民生理事

企業、関係機関、団体との連携などにより、町民の健康づくりの機運を高め、社会全体で健康づくりを推進する。

う。併せて、本町における学校と図書館の連携及び学校の図書館有効活用についてどう考えか。

教育長

県立図書館や敦賀市立図書館の読書環境の充実にもけたイベントや地域の特色を活かした取り組みを町でも参考にしたい。

学校と図書館の連携については、教員が探す資料の提供や子どもたちの使いやすい図書室の整理方法のアドバイス、学校での図書館司書によるお話し会の実施などを行っている。

町立図書館では昨年度、司書手作りの『読書ノート』を作成し、今後町内全域に広げるための取組を行っている。また今年度、『幕末明治福井150年博』に合わせて漫画フェアの開催を予定している。

下水道マンホール蓋を生かしたまちづくりについて

木村

本町の下水道管路の総延長およびマンホール数、交換目安は。

進する環境の整備に取り組んでいく。

現在、えちぜん健康チャレンジ、健康づくりの出前講座、団体や職場との連携について重点的に取り組んでいる。

高田

健康長寿のため、予防の取り組みが重要であると考え、町長の所見を伺う。

町長

健康長寿のためには、生活習慣病の発症や重症化の予防、社会環境の整備、また、高齢者の生活支援や介護予防などの取り組みが重要だと認識している。

現在の事業のさらなる充実、子どもから大人まで切れ目なく健康づくりに主体的に取り組むことができる機会を提供し、町民の健康づくりを推進していく。

高田

健康長寿に関する施策には予防的な要素が多く、長期的な取り組みが重要なことから効果が表れにくい側面もあるが、有効な指標もある。

健康は人間の生活や豊かさの基盤であり、健康で長生きは多くの人々の共通の願いであると考えられることから、今後も健康長寿に関する施策の推進をお願いする。

建設理事

町の下水道管路の総延長は、公共下水道17.9km、集落排水道85kmで計26.4km。マンホールの数は平均30mに1つ設置されているので、約8,800個あると考えられる。マンホール蓋の耐用年数は、設置個所の交通状況により老朽化に大きく差はあるが、大半が設置後15年を経過していると思われる。今後、現状調査を進め、交換が必要な蓋の更新を進めていきたい。

木村

近年、全国のマンホールの蓋のデザインをあしらったトレーディングカード「マンホールカード」が、ひそかなブームとなっている。県内における自治体独自のデザインマンホールおよびマンホールカードの取り組み状況についてお聞かせ願いたい。

町長

県内でマンホールカードを配布しているのは、福井市、大野市、勝山市、敦賀市の4市で、本町でも、各地区の特徴を活かしたデザイン蓋がある。老朽化した蓋の計画的な更新と併せて、マンホールカードについても検討していきたい。



伊部 良美 議員

いっぱん 質問



佐々木 一郎 議員

ふるさと納税について

佐々木

ふるさと納税制度は平成20年に始まり、平成30年で11年目を迎える。本町では、平成30年1月末現在で総額1億5,000万円の寄付をいただいている。平成28年度の寄付額は7,800万円余りであったが、平成29年度は4,500万円となっている。今後さらに寄付をしていただくための施策について伺う。

返礼品の充実

総務理事

現在12社ある納入業者の数を増やす必要がある。説明会を開催し、関係団体を通じて参入を呼び掛けていく。

ホームページの充実

総務理事

現在も町のホームページにふるさと納税のページをアップしており、その中にはボタンひとつで納

認定子ども園制度について

佐々木

平成27年から31年までの5年間を特例として、保育所、幼稚園の良いところを一つにして、地域における子育て支援機能を図ると聞いている。今後の取り組みについて伺う。

民生理事

認定子ども園への移行を希望しているのは2保育園。現在、町では、両保育所から移行を希望する理由、移行後の定員数、学級編成などについて聴くとともに、両保育園への認定子ども園に関する町の現状をお伝えし、設置について話をさせていただいている状況である。

町の支出の増額について

民生理事

入所児童1人につき1ヶ月平均12,200円程度、年間146,400円の支出が増えることになる。

小学校の連携について

民生理事

平成27年度から福井型18年教育がスタートし、保育所と小学校が接続推進会議をし、情報交換を行っている。これまで以上に連携している。

町長

幼児は保護者の就労の有無にかかわらず施設の利用が可能である。家庭に保護者がいて保育を必要としない園児は給食後帰宅するが、必要な場合は預かり保育が利用でき、教育と保育を一体的に提供することができる。

今後、保護者の方々と充分協議をし、保護者の意向を伺って認定子ども園のあり方や必要性を検討していきたいと考えている。



道の駅「越前」の旧真砂屋跡地の越波対策について

伊部

道の駅「越前」駐車場（旧真砂屋跡地）の越波の状況を把握しているか。

町長

この海岸は国土交通省所管の建設海岸で管理は県が行っている。今季も波浪警報が出された際、丹南土木事務所鯖江丹生土木部が現地で、越波の状況を確認している。また、町職員も状況を確認している。

伊部

県では調査費を計上したと聞いているが事実か。

町長

平成30年度で、波高や波力の調査・測量設計を実施する。その後、護岸コンクリートの嵩上げ工事を計画すると聞いている。



伊部

既設の消波ブロックが年々下がってきている。もう一段嵩上げしてはどうか。

町長

漁業者の理解が必要になると、景観上の問題もあるので、県と慎重に協議していきたい。

伊部

アクティブラウンドでは、冬期間たびたび越波が発生し、春先に整地するのに、毎年70〜80万円の費用がかかっている。アクティブラウス施設への越波対策と併せて進めてもらえるよう、県に要望してはどうか。

町長

県には状況を報告しているが、特に深刻な被害を確認できていないため、今後は経過観察を続けていくとのこと。大きな被害が出る前に対策の検討をお願いしていきたい。

越前岬レストハウス呼鳥門について

伊部

建物がかなり老朽化し痛みが激しい。今後解体するのか改修するのか。

町長

昭和46年の建築以来、47年が経過し老朽化が進んでいる。一方で、契約者からは、あと2年程度は営業を継続したいという申し入れも受けているので、すぐにというわけではないが、契約終了後は建物解体を進めたい。

伊部

解体するのにも多額の費用がかかる。建物建築の時からずっと、土地自体の登記もされていない状態である。元の所有者である県に対して、きちんと登記をしてもらわないといけないのではないのか。

町長

まず現況に沿って土地の所在地番、地目、地籍等明確にしておく必要がある。県に対して、この



町長



土地の表示登記を進めるよう申し入れを行っていききたい。
この土地は越前町の北の玄関口として風光明媚な海岸線であり、非常によいロケーションである。建物解体を見据え、土地の有効な活用方法について検討を進めたい。



南 中かり 議員

現在町では、平成28年に施行された障害者差別解消法に基づき、職員対応要領を定め、筆談やコミュニケーションボードなどを利用し、簡単な手話ができる職員が意思疎通を行い、ろう者や聴覚障がい者の方々へ配慮している。手話の普及等にあたり、県と市町が連携協力を図るよう努めるという福井県手話言語条例の趣旨も踏まえ、聴覚障がい者の方々の実情や要望を伺いながらタブレット端末の導入に取り組んでいきたい。また、町民の方々と事業所や役場の職員に手話奉仕員になってもらうための手話奉仕員養成研修事業を

町長

全国各地で聴覚障がい者への理解や認識、意思疎通事業の取り組み、福祉への意識が高まっている。福井県手話言語条例の成立と共に越前町庁舎の窓口にタブレットと通訳者の設置を導入し聴覚障がい者が積極的に社会参加できるよう環境を整えていただきたい。町長の所見を問う。

南

耳元で大きな声で話したり、筆談やジェスチャー、助聴器などを活用し対応している。

病院に行くときは急なことが多い。手話通訳者がすぐに見つからない場合もあるらしい。聴覚障がい者にとつて手話通訳者は心のよりどころであり医療の手話は、とくに命にかかわるので非常に重要で、高いレベルを必要とする。織田病院で通訳者の設置やＩＴを使った遠隔手話通訳サービスなどの取り組みをしてもらいたい。

民生理事

現在、織田病院の聴覚障がい者の方々が来院した時の対応はどのようなものか。

南

実施している。今後も意思疎通支援事業についてはろう者や聴覚障がい者に積極的な利用を案内し、手話奉仕員の養成と手話通訳者の人材育成につなげていきたい。

民生理事

町と地域医療振興協会との間で十分な協議をしておいてほしい。

南

多様化、グローバル化していく社会の流れの中で、子供たちに学力、体力と共に人間力を育てていく必要がある。日本語の言語として認められた手話を、子供たちの好きな遊びに取り入れたり、手話通訳の現場を見る機会をつくる、朝の会やレクリエーションなどで楽しく簡単な挨拶を毎日、取り入れるなど長い目で見た福祉計画の中に手話が浸透していくような取り組みをしてほしい。

教育長

今、学校では様々な体験や交流などを踏まえて福祉学習に取り組んでいる。手話に関する活動は町内3つの小学校と1つの中学校で行っている。社会福祉協議会や町内の施設から講師を招いたり動画をみたりして手話を学び、歌に手



久保教育長

南

町独自の取り組みを期待している。

話をつけて発表したりする。様々な教科や活動の中で学ぶ機会も多い。手話への理解と普及を学校の中でどのように取り組んでいくかは学校の実情と県の動向を踏まえ検討していきたい。今後も家庭と地域と共に、子供たちに人の痛みをのわかる思いやりの心を育んでいきたい。

質問

町政を問う！

田中 太左エ門 議員



雪害対策体制について

田中

今回の雪害についてどの様に対応し、今後の対策に結び付けていくのか。

総務理事

2月6日、雪害対策本部を立上げ、以降雪害等の情報を集約しながら、23回の会議を開催。気象に関する情報や積雪状況に加え、除雪状況、公共交通機関の状況を踏まえ学校の休校やコミュニティセンターなど公共施設の休館、コミュニティバスの運休、高齢者世帯の支援や孤立集落がないか雪害対策について協議した。

建設理事

降雪深が10センチが出動基準だが、国県道は除雪がされているが、町道は除雪されて無いうちがはぐな対応とならないよう、出動基準にこだわらず、県と町が協議し、除雪出動の指示をしたが、今回の大雪ではタイヤショベルの左右にかき分けていくような除雪体制では歯が立たなかった。急遽町所有のロータリー車を緊急出動したが、2台しかなく、大分おくれてご迷惑をおかけした。

民生理事

ひとり暮らしの方への対応は、区長や民生委員に依頼し、見守り、訪問、電話等で、安否の確認を行い、介護、障害福祉サービスを利用されている方は、町の地域包括支援センターの職員、介護事業所、相談支援員が連携協力し、訪問や電話で、お体、生活、安否の確認、また、ごみの収集は、6日から各集落のごみステーションの設置場所にごみ収集車が入ることができず、7日～9日の期間は、収集を中止。周知の方法は、各区長に電話、それから6日の夜間、7日の早朝には防災行政無線、ホームページ、丹南ケーブルテレビ、県内のテレビ放送にテロップで周知し、8日には、ごみステーションの状況をパトロールし、ごみステーションの除雪がしてないところが大変多く、収集かご設置、道路状況から収集車が狭い集落内道路を走行することは交通渋滞を起きると判断し、12日～16日まで可燃ごみのみを収集した。

田中

地区への除雪機の補助金制度の拡充について何か考えがあるのか。

町長

今回の大雪で道路除雪やひとり暮らし、高齢者世帯対策、公共交通機関

平成30年度予算について

田中

平成30年度の予算の重点施策は何が町長に伺う。

町長

予算の編成方針を未来の展望を確立する予算と定め、地方交付税縮減による緊縮財政と人口減少に伴う地方活力の減退に対応した。

農林水産業では、園芸作物の特産化の為、野菜の集出荷予冷施設の建設に補助金、地域産業の振興は、越前焼のMY茶碗利用促進や町内飲食店、学校給食での越前焼導入促進、古窯博物館の周辺整備、エントランス付近の用地、建物の購入費、担い手の育成は、継続する。

雇用機会の創出と就労環境支援対

策は、おもてなし商業エリアの形成、店舗の改修や新築に支援し、空き店舗を活用した新規出店に改修費、運営費を助成する。

若者移住・定住促進プロジェクトチームを設置、定住のためのサポート体制を充実し、ふるさと帰郷フェアやふくいき移住・就職フェアで移住希望者の誘致を図る。空き家住まい支援事業でUIJターナー者や子育て世帯の空き家の購入やリフォームを支援する。

地域公共交通の仕組みづくりは、町営バス、乗合タクシーやカーシェアの導入に向け、一番適合した運行形態を構築するため、調査と運行計画を策定する委託料を計上した。

最後に、観光産業の育成は、均衡ある整備として観神社周辺の再整備を地域のひとと一緒に方針を固める。価値ある景観を保全する取組みとして、重要文化的景観の指定の負担金を計上した。

人口減少に歯止めをかける施策は、堅実な施策を継続し、現在住んでいる人が、住みやすい町だと感じ、都会の人が、素敵な町だと思つて頂けるよう、地道な政策を続ける。



坂東玉三郎公演のあとは

中員 田委 越前陶芸村文化交流会館で開催予定の坂東玉三郎公演は、一過性のもので、継続して活性化につながる方策を求める。

産業理事 越前陶芸村は、旧宮崎村のときから、茶会や芸術家の作品展示など、伝統文化と芸術を軸に発展してきたおり、越前焼の「ブランディングと村をプロモーションしていく。」

ブランディングとは「ブランド」として認知されていないものをブランドに育てあげること



越前水仙新規生産者育成

木村委員 平坦地での新たな生産とは越前地区以外の地域をいうのか。

産業理事 水仙生産者の高齢化に伴い、越前地区だけでは生産量の確保ができない状況にあり、越前地区以外でも生産を拡大していきたい。



道の駅越前の軽食喫茶改修の是非

吉村委員 改修事業の正当性はあるのか。また3階レストランや隣の海鮮マーケット2階の食堂に配慮して軽食にとどめ、現状の施設設備の範囲で努力して営業すべき。

産業理事 当初は喫茶と軽食を提供していたが、近年来場者も増え、越前海岸の新鮮な海の幸を気軽に味わえる場所が求められ、揚げ物や刺身を提供することになった。そのため今の厨房が手狭となり、厨房施設改修を行いたい。

道の駅越前運営委員会では、道の駅内で新鮮な海産物の提供や、賑わい創出を求める意見が出ている。事業者は1年間の使用許可制で、今まで継続して施設を使用している。

陶芸村周辺土地建物の購入

木村委員 陶芸村内の旧おむすびチエーの跡地利用は。

産業理事 飲食店やお土産店の整備を考えているが、現時点では決まっておらず、企画会社等にも相談して慎重に検討する。



移住希望者の受け入れ

中員 田委 町営住宅南団地の3棟を移住者向けに改修するのは、入居者が決まっているのか。

促進課長 宮崎移住・二地域居住体験施設（ラフォーラ）の利用者で陶芸村近辺に移住を検討する方が増えているが、付近に空き物件がないため、町営住宅を国の許可を得て移住者用に使用し、ふるさと再生基金を用いて改修する。既に4月から2世帯の入居が決まっている。



南団地

景観計画の重要性

高田委員 景観計画は、今後の景観行政において、重要となっていく。どのようなビジョンがあるのか。

副町長 自然景観との調和や伝統的な屋群の景観を生かしていく。特に越前海岸の水仙群が、重要な文化的景観に選定される条件を整えるため、景観条例策定を目指している。



切妻の家並み

土地区画整理事業

中員 田委 気比庄の土地区画整理事業で、町営住宅を解体後整地し、借地を返還してから、地権者から売却の申し出があった場合の対応は。

副町長 現時点では、町としてその土地を必要としないことだから、購入することは考えていない。



工事入札の条件の見直しはできないか

柳委員 青 本庁舎整備事業のような大型工事ではより競争原理が働くような入札方式にできないか。

副町長 大手ゼネコンを入札業者に加えることで、地元地域経済にとつて本当に良いことなのかをまず考えなければならぬ。現時点でも競争原理は十分に働いていると考えている。

事業内容

木村委員 佐 整備計画のため会議が複数回開催されているが、景観整備等の目に見えるような工事着手はいつになるか。

財政課長 現時点では計画策定のための会議を開催している。計画がまとまり次第ハード事業に着手する。



劔神社

集落支援員の補充は

木村委員 佐 現在1名欠員となっている集落支援員の補充採用の状況は。

財政課長 非常に重要な役割を担う集落支援員なので、新年度当初から2人体制で活動できるように、早急に人選し高齢化が進んだ地域の目配り役として活躍していただけるよう努める。

公共交通の利便性向上

伊部副委員長 利用者の利便性向上のため公共交通調査委託で、丹生高生徒の下校時間に配慮した運行ダイヤにできないか。

財政課長 コミュニティバスの再編計画では、予約制バスを効率的に運行するよう検討する。

また、丹生高生徒を含め、学生や高齢者の利便性向上に努める。



子育て世代包括支援センター事業内容

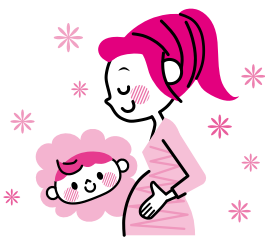
木村委員 佐 妊婦が通院するときなどのタクシー助成はできないか。

民生理事 平成30年度より設置予定の子育て世代包括支援センターでは、妊娠から出産子育て期までを総合的にサポートする体制を確立したい。支援内容は金銭的なものより、妊娠子育ての相談体制を充実させ、心のサポートを中心にと考えている。

町内の学校の統廃合

柳委員 青 平成31年度末には、統廃合を見据えた一定の方針をだすのか。

教育委員会事務局 学校教育環境調査委員会の設置は、平成30年度に住民意向調査を実施し、統廃合が必要と判断されれば、平成31年度に検討委員会を立ち上げ、平成32年3月までに答申を提出する。その後教育委員会調整し、33年2月までに方針を決定することになる。



給食センターに勤務する職員の処遇

木村委員 佐 現在給食センターに勤める嘱託職員が、新給食センターで引き続き勤務を希望するときは、継続雇用されるよう働きかけができるか。

教育課長 職員が希望する場合はできるだけ配慮する。

給食の食材の調達先は

野田委員 新給食センターでもこれまで同様、食材を町内の食料品店で納入できるよう求める。また地元産品を極力提供してほしい。

教育委員会事務局 給食の地産地消率、消費量、消費品目数が県下一を誇り、今後も継続したい。仕入れについては、食材の品質統一のため、仕入れ先を一本化できないかを、以前から各業者に要請しているところで、今後も商工会などを通じ仕入れについて協議していく。



議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況
(12月16日～3月23日)

○…出席 ×…欠席 △…遅刻早退 ()は欠席の理由 (病)は病欠

月日	曜日	諸 会 合 名	北島 議長	笠原 副議長	高田 議員	南 議員	藤野 議員	米沢 議員	田中 議員	佐々木 議員	齋藤 議員	伊部 議員	青柳 議員	木村 議員	吉村 議員
12 25	月	鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・臨時会	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—
1 4	木	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 日	平成30年越前町成人式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成30年越前消防団出初式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 月	議会広報委員会	—	—	○	○	○	×	○	○	—	—	—	—	○
	19 金	議会広報委員会	—	—	○	○	○	×	○	○	—	—	—	—	○
	26 金	議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
2 9	金	公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	15 木	鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・定例会	—	—	—	—	○	—	○	○	—	—	○	—	—
	16 金	鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	—	—	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—
	19 月	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
	28 水	議会運営委員会	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	○
3 5	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 水	3月定例会 本会議（1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 木	3月定例会 本会議（2日目） 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 金	3月定例会 本会議（3日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 月	3月定例会 全員協議会（現場踏査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 火	平成29年度 町内中学校卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 水	3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 木	3月定例会 総務文教厚生常任委員会	○	—	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	—
	16 金	平成29年度 町内小学校卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 月	3月定例会 産業土木常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○
	20 火	3月定例会 産業土木常任委員会	○	○	○	—	—	○	○	—	○	—	—	○	○
	23 金	3月定例会 本会議（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会広報委員会	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○

自治功労賞受賞

3月定例会終了後、福井県町村議会
議長会自治功労賞の表彰状伝達式
が行われました。

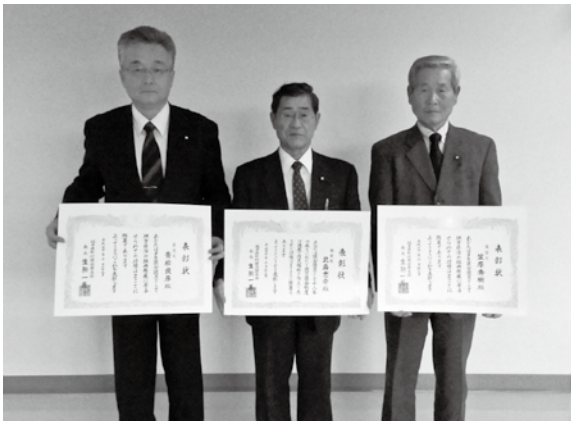
表彰された議員は次のとおりです。

◎18年以上在職者

北島 忠幸 議長

◎10年以上在職者

笠原 秀樹 副議長
青柳 良彦 議員



3月定例会に提出された議案等

議案番号	件 名	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告のみ
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度越前町一般会計補正予算（第12号））	全会一致可決
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号））	全会一致可決
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（越前町税条例の一部改正について）	全会一致可決
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度越前町一般会計補正予算（第13号））	全会一致可決
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度越前町一般会計補正予算（第14号））	全会一致可決
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度越前町一般会計補正予算（第15号））	全会一致可決
議案第1号	越前町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	全会一致可決
議案第2号	宮崎有機資源活用作業場条例の制定について	全会一致可決
議案第3号	越前町個人情報保護条例及び越前町情報公開条例の一部改正について	全会一致可決
議案第4号	越前町国民健康保険条例及び越前町国民健康保険基金条例の一部改正について	全会一致可決
議案第5号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について	全会一致可決
議案第6号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律に基づく町税の特例に関する条例の一部改正について	全会一致可決
議案第7号	越前町印鑑条例等の一部改正について	全会一致可決
議案第8号	越前町越前地域福祉センター条例等の一部改正について	全会一致可決
議案第9号	越前町保育所条例等の一部改正について	全会一致可決
議案第10号	越前町介護保険条例の一部改正について	全会一致可決
議案第11号	越前町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	全会一致可決
議案第12号	越前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	全会一致可決
議案第13号	越前町都市公園条例の一部改正について	全会一致可決
議案第14号	越前町営住宅条例の一部改正について	全会一致可決
議案第15号	越前町国民健康保険織田病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
議案第16号	越前町農村地域工業等導入促進法の施行に伴う町税の特例に関する条例の廃止について	全会一致可決
議案第17号	町道路線の認定について	全会一致可決
議案第18号	福井県市町総合事務組合理約の変更及び財産処分について	全会一致可決
議案第19号	平成29年度越前町一般会計補正予算（第16号）	全会一致可決
議案第20号	平成29年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致可決
議案第21号	平成29年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致可決
議案第22号	平成29年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第23号	平成29年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）	全会一致可決
議案第24号	平成29年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第7号）	全会一致可決
議案第25号	平成29年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	全会一致可決
議案第26号	平成29年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第27号	平成29年度越前町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致可決
議案第28号	平成29年度越前町上水道事業会計補正予算（第4号）	全会一致可決
議案第29号	平成30年度越前町一般会計予算	全会一致可決
議案第30号	平成30年度越前町国民健康保険事業特別会計予算	全会一致可決
議案第31号	平成30年度越前町介護保険事業特別会計予算	全会一致可決
議案第32号	平成30年度越前町後期高齢者医療事業特別会計予算	全会一致可決
議案第33号	平成30年度越前町簡易水道事業特別会計予算	全会一致可決
議案第34号	平成30年度越前町公共下水道事業特別会計予算	全会一致可決
議案第35号	平成30年度越前町集落排水事業特別会計予算	全会一致可決
議案第36号	平成30年度越前町温泉事業特別会計予算	全会一致可決
議案第37号	平成30年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計予算	全会一致可決
議案第38号	平成30年度越前町土地区画整理事業特別会計予算	全会一致可決
議案第39号	平成30年度越前町上水道事業会計予算	全会一致可決
議案第40号	平成30年度越前町国民健康保険病院事業会計予算	全会一致可決
同意第1号	越前町教育委員会委員の任命について	全会一致可決
同意第2号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	全会一致可決
同意第3号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	全会一致可決
同意第4号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	全会一致可決
同意第5号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	全会一致可決
同意第6号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	全会一致可決
同意第7号	越前町政治倫理審査会委員の任命について	全会一致可決
同意第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致可決
同意第9号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致可決



メンバーの皆さんを
直撃インタビュー

がんばってます! 幸若舞の里づくり会



お問い合わせ
事務局 橋本守行

☎34-0046

＜インタビュー＞ 高田

「活動内容について教えてください。」
幸若舞の里づくり会では、①宗生流にお願いし、創作いただいた「現代版幸若舞」の活動、②幸若舞の勉強会である「歴史研究女性の会」、③地域の行事等と連携した「地域の会」、④幸若舞の歴史的なことを研究している「歴史文化研究会」があります。

「どのような思いで活動をされていますか。」
日本中世を代表する芸能である「幸若舞」は、越前町朝日地区が発祥の地です。幸若舞の里づくり会では、幸若舞について様々なアプローチ

「最後に一言お願いします。」
幸若舞の里づくり会では、会員を募集しております。前述のように、主に4つの活動があり、そのなかから、興味があるものを選んで、参加してほしいと思っています。

これからの、幸若舞を地域に知ってもらうため、体験講座も行っています。今後も、なお一層親しんでもらえるよう頑張ります。

で発信していくことで、地域の人たちをはじめ多くの人たちに興味を持っていただきたい、と考えています。

そして、これからの幸若舞の発祥の地として語り継がれるよう、子どもたちに伝えていくことが重要だと考えています。

傍聴席へどうぞ 次の議会は 6月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

2月には、県内は37年ぶりの大雪に見舞われ、越前町内も積雪による影響を大きく受けました。町民の皆さんも雪の対応に大変だったかと思いますが。

3月の定例会では、これまで「括質問」「括答方式」で行ってきた一般質問の質問形式に「二問二答方式」を新たに加えました。

私たちは、「町民のみなさんに議会活動に関心を持っていただくためにはどうしたらよいか」を常に考えて活動しています。今回の一般質問「二問二答方式」試行もそのひとつです。

また、「町民に親しまれ、愛読される議会だよりをつくる」ことも、皆さんに議会のことを知っていただくための大切な活動であると考え、日々がんばっております。ご意見、ご要望ございましたら、是非お寄せください。お待ちしております。

(米沢)

◆議会広報特別委員会◆
委員長 田中 太左門
副委員長 藤野 菊信
委員 吉村 春男
佐々木 一郎
米沢 康彦
南 浩樹
高田 浩樹

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

